

(新) 志道館建設基本構想

平成31年3月

十和田市

目次

1 章 現状と建設の必要性

- ①. 現志道館の概要 1 P
- ②. 現志道館の課題 4 P

2 章 市民・利用者の意向及びニーズ

- ①. 市民会議の意見の整理 5 P

3 章 (新)志道館建設の基本方針

- ①. (新)志道館の基本コンセプト 6 P
- ②. 想定される必要機能 7 P
- ③. (新)志道館の建設地 8 P
- ④. 基本設計に向けた検討事項 9 P

4 章 構想の具体化に向けて

- ①. 建設規模 11 P
- ②. 概算工事費 11 P
- ③. 事業スケジュール 12 P

1 章 現状と建設の必要性

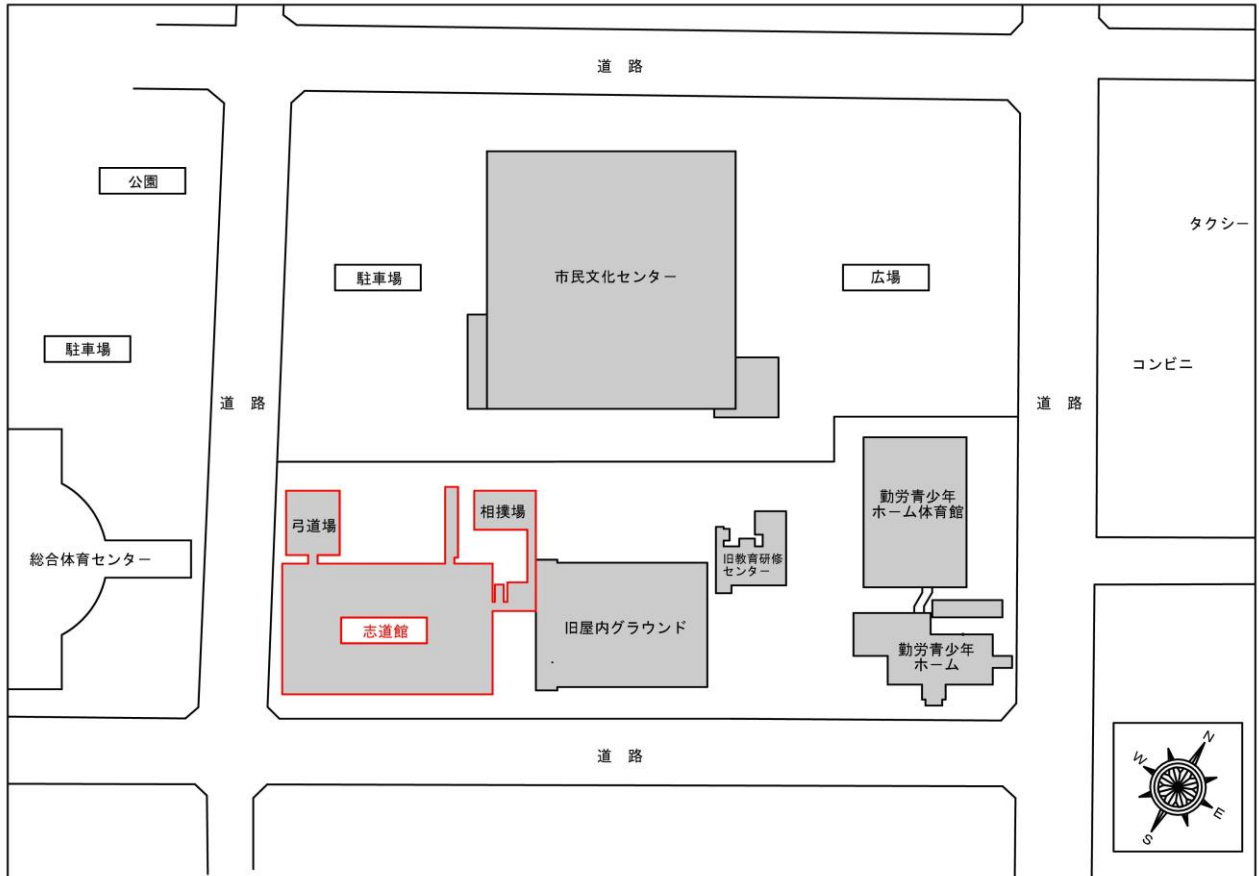
①.現志道館の概要

現在、志道館は本市市街地の中心部に立地し、剣道、柔道、相撲、弓道や格闘技など市民の武道の活動拠点として利用されています。

現志道館位置図



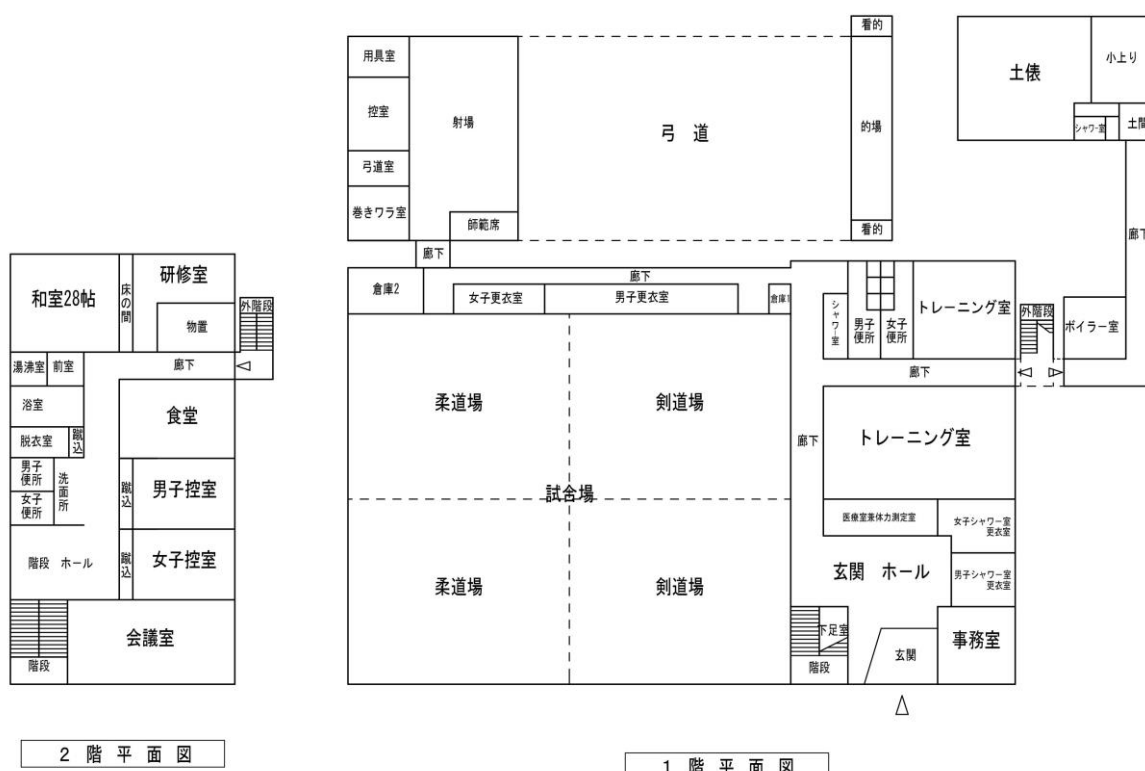
現志道館周辺図



現志道館南面写真



現志道館平面図



現志道館概要

所在地 西三番町 2-19
 昭和 50 年建築 (築 44 年経過)
 構造 鉄骨造 二階建て
 建築面積 1961.46 m²
 延べ床面積 2,466.16 m²
 剣道場 441.09 m²
 柔道場 441.09 m²
 弓道場 429.30 m²
 相撲場 130.67 m²
 トレーニング室 117.03 m²
 トレーニング室 54.00 m²
 会議室 71.9 m²
 合宿室 定員 40 人(男女各 20 人)

年間の利用者数
 平成 27 年度 約 3 万 4 千人
 平成 28 年度 約 4 万 3 千人
 平成 29 年度 約 3 万 2 千人

施設改修歴
 昭和 62 年 屋根改修工事
 平成 5 年 暖房給湯設備改修
 平成 13 年 柔剣道場北側通路屋根修繕
 平成 27 年 耐震改修工事

駐車場 普通車 30 台

②.現志道館の課題

現志道館は築 40 年以上が経過し、平成 25 年度の耐震診断では基準を満たさないと判定され、平成 27 年度に耐震改修工事を実施、これにより大規模地震による倒壊等の危険性は改善されました。

しかしながら耐震性能以外に、建物の耐用年数が超過していることもあり、外壁や屋根などの性能劣化により、各道場等の室内環境は著しく低下しています。

現志道館は、現状では十分な活動環境を整えることが難しくなっていることから、本市の屋内運動施設の中核を担う施設でありながら、十分な機能・役割を果たさきれていない状況となっています。

そこで平成 29 年 3 月に各施設が抱える課題の解消に向け、中・長期的な視点で効率的・効果的な公共施設等の最適な配置を実現することを目的とし、市民アンケート調査による意見を反映した「十和田市公共施設等総合管理計画」を策定しました。これに基づき、多様化するニーズに対応できる機能充実も図りながら「市民一人・1 スポーツ」のスローガンに最大限寄与し、利便性や経済性に優れた(新)志道館となるよう十分に配慮し建設を進めます。

■2章 市民・利用者の意向及びニーズ

①.市民会議の意見の整理

本計画では、市民の意見を広く反映させることを目的に「(仮称)志道館建設市民会議」を設置しました。十和田市の現状に即した機能や、利用者側の視点から整備に向けた意向やニーズについて以下に整理します。

市民会議概要

- 市民会議の開催（3回） 平成30年9月28日・11月27日、平成31年1月25日
○市民会議委員（13名） 関係機関等推薦 商工会議所・市体育協会
利用団体推薦 柔道、剣道、弓道、相撲、空手、なぎなた、
太極拳、ボクシング
一般公募の市民 3名

現志道館の 【 課 題 】	<ul style="list-style-type: none">・ 夏暑く、冬寒い・ 柔剣道場の騒音が大きい・ 換気が悪い・ 西日がまぶしい
(新)志道館 に期待する 【 役 割 】	<ul style="list-style-type: none">・ 武道の活動の場・ 子供から高齢者までの交流の場
(新)志道館 設計への 【 要 望 】	<ul style="list-style-type: none">・ 施設設備においては利用者等の利便性を最大限に考慮すること・ 武道場の役割と品位にふさわしい施設となるよう配慮すること・ 機能性・使い勝手のよさを優先したデザインとすること・ 各道場、倉庫及び室等は限られた予算の中で、不測のない十分な広さの実現に向け最大限の規模とすること・ 駐車場を出来るだけ広く確保すること



(新)志道館 に必要と想定される 【 機 能 】	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 各道場の広さ、設備の充実<input type="checkbox"/> 格技間の騒音の減少化<input type="checkbox"/> ロッカー等荷物置場・倉庫の充実<input type="checkbox"/> 冷暖房の設置<input type="checkbox"/> 館内放送等施設設備の充実<input type="checkbox"/> ユニバーサルデザイン化<input type="checkbox"/> 利用者、管理者等のゾーニング
--------------------------------	---

■3章 (新)志道館建設の基本方針

①. (新)志道館の基本コンセプト

「(仮称)志道館建設市民会議」の意見を踏まえ、(新)志道館の施設が持つ役割として、次の4つの基本コンセプトを検討します。

(新)志道館の基本コンセプト

(1) 武道・スポーツ活動を促進する施設

新しい志道館は、多様な武道やスポーツに多くの市民が触れて、励むことが出来る場所となり、また地域大会等も開催可能とし、競技者が日々の鍛錬の成果を発揮する場所として、武道やスポーツおよび地域の発展、活性化につながる施設を目指します。

(2) 交流・人づくりができる施設

新しい志道館は、市民が気軽に立ち寄り、利用しやすい施設とし、幅広い年代の市民が武道・スポーツを通じて交流し、つながりが生まれる場所となり、また子供から大人まで誰もが成長できる環境を目指します。

(3) 健康・体づくりができる施設

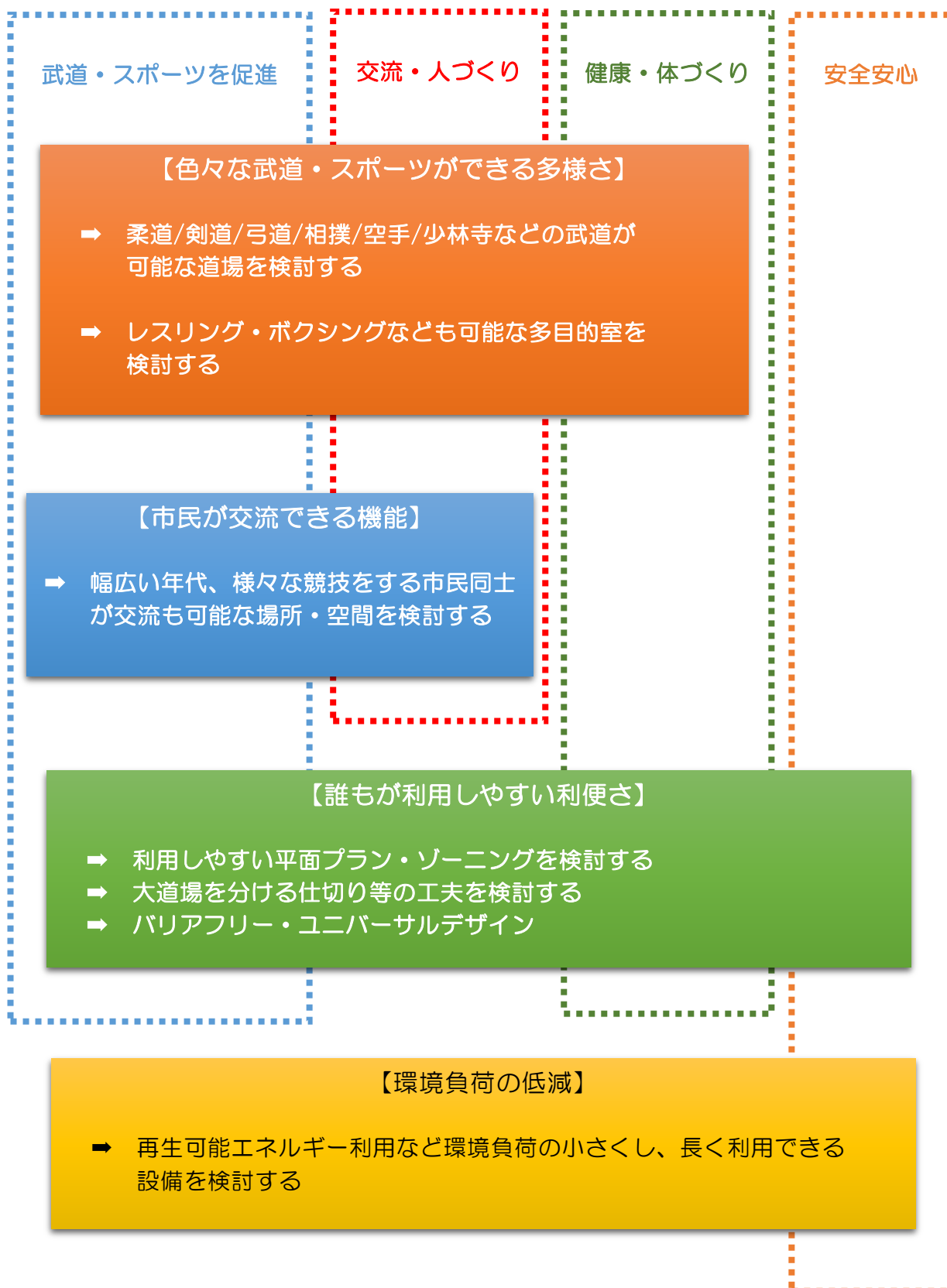
新しい志道館は、市民の誰もが多様な運動による健康づくりを楽しめる場とし、市民の強い体づくりと健康増進を図ることができる施設を目指します。

(4) 安心安全に利用できる施設

子供から大人まで誰もが、安心して利用できるバリアフリーとし、また再生可能エネルギー利用など環境負荷の低減を図り安全な施設を目指します。

②.想定される必要機能

4つの基本コンセプトを基に、(新)志道館に想定される必要機能を検討します。

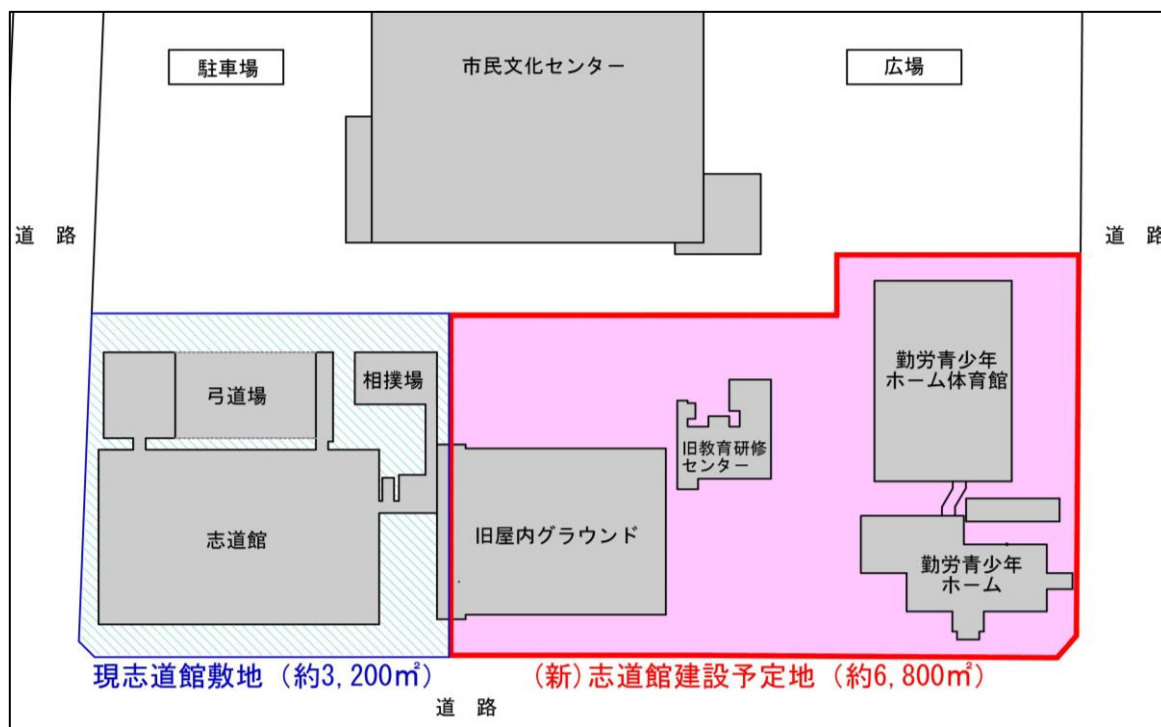


③. (新) 志道館の建設地

(新) 志道館の建設予定地は、現志道館に隣接する旧屋内グラウンド、勤労青少年ホーム等が建っている一帯を敷地として計画しています。また現志道館が建つ敷地については駐車場として利用する計画です。

隣地に十和田市民文化センター、十和田市総合体育センター、500mの範囲内には中央公園や現代美術館、市民交流プラザ「トワーレ」があり、十和田市民が利用する施設や市外からの観光客が訪れる場所も近く、そういった人々の活動圏内にある立地といえます。

また建設予定地の用途地域については、第二種住居地域であり建蔽率 60%、容積率 200%となります。また建築基準法 22 条・防火制限区域内であり、屋根や外壁の一部に不燃材等の対応した仕様が求められます。



(新) 志道館の建設にあたり、建設予定地内の既存建築物（旧屋内グラウンド、旧教育研修センター、勤労青少年ホーム、勤労青少年ホーム体育館）の解体工事後に、新築工事を行なうものとします。また(新)志道館の完成後に、現志道館の解体工事および駐車場整備工事を行う計画となります。

④. 基本設計に向けた検討事項

(新) 志道館建設の基本設計へ向けて、定められた基本方針に則り、必要と想定される機能や施設を、より具体的な内容および方向性について検討していきます。

検討事項

部 門	室名	検討事項	利用武道等
道 場	武道場 ※1室4面とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道場/2面分/床：木板+畳敷き ・剣道場/2面分/床：木板 ・正面ステージ（審判席・国旗） ・可動仕切り ・倉庫、畳収納室の設置（畳計4面分） ※柔道場の畳を撤去、また剣道場に畳を敷くことで、それぞれ計4面を利用し地域大会の実施が可能な計画を検討する。	柔道/剣道/空手 /少林寺/なぎなた
	弓道場	<ul style="list-style-type: none"> ・射場/床：木板 (射場/審判席/巻ワラ室/用具室/その他) ・矢道/矢取り道 ・採(的)場/看的室。 	弓道
	相撲場	<ul style="list-style-type: none"> ・稽古場(土俵) ・小上り/床：木板 ・トイレ ・シャワー室 	相撲
	多目的室	<ul style="list-style-type: none"> ・レスリング・マット敷き ・トレーニング設備（鉄棒、綱等） ・ロッカー兼休憩席 ・床：フローリング ・ボクシング活動スペース 	レスリング/ヨガ /ボクシング /エクササイズ
その他	事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・1階 ・監視カメラ・モニター設備 ・館内放送設備/各室への内線設備/ ・利用者玄関以外からのアクセス確保を検討する。 	
	会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜 	
	エントランス ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・案内・展示や休憩・待合いができるスペース 例/つどいの広場/コミュニティスペース/ ふれあいギャラリー 	

部 門	室名	検討事項	利用武道等
共 有	更衣室	・男女各室/ロッカー室+シャワー室	
	トイレ	・男女共 ・多目的 ・授乳室	
	正面玄関	・1階 ・自動ドア ・下足ロッカー室	
	管理出入口	・1階、その他適宜	
	階 段	・適宜	
	廊 下	・適宜	
	物 置	・適宜	
	機械室	・適宜	

- ・総合体育センターの利用も併せて検討する。

■ 4章 構想の具体化に向けて

①.建設規模

前述の諸室の検討事項から(新)志道館の規模(延床面積)は3,250㎡程度、また整備面積(建築面積等)は3,000㎡程度を想定しています。

建設予定地等の面積は下記の表の通りとなります。また敷地面積や建築規模から想定される、敷地全体での駐車可能台数は180台程度となります。

区 分	面積
(新)志道館建設予定地	約 6,800 ㎡
(新)志道館・整備面積	(約 3,000 ㎡)
外構整備敷地	(約 3,800 ㎡)
想定駐車場敷地(現志道館部分)	約 3,200 ㎡
合計敷地面積	約 10,000 ㎡

諸室の検討事項から想定される面積については下記表の通りとなります。

室 名	現志道館	(新)志道館	活動種目等
柔道場	441.09 ㎡	578 ㎡	柔道、剣道、空手、 なぎなた、少林寺拳法等
剣道場	441.09 ㎡	578 ㎡	
弓道場	429.30 ㎡	600 ㎡	弓道
相撲場	130.67 ㎡	240 ㎡	相撲
多目的室	117.03 ㎡	410 ㎡	レスリング、太極拳、 ボクシング、ヨガ等
	54.00 ㎡		
会議室・事務室	852.98 ㎡	155 ㎡	
機械室・更衣室その他		690 ㎡	
合 計	2,466.16 ㎡	3,251 ㎡	現志道館から約 800 ㎡増

②.概算工事費

新築工事の概算工事費は、他の類似施設の事例実績などを参考に算定した目安の工事費であり、約18億円となる見込みです。「基本設計」「実施設計」の各段階において検討する計画内容や、今後の建設物価や社会動向により変動する可能性があります。

新築工事	概算工事費	項目
建設費	1,700,000 千円	延床面積 3,250 ㎡×約 52 万円/㎡ (税込)
外構整備費	154,000 千円	7,000 ㎡×約 2.2 万円/㎡ (税込)
合計(税込)	1,854,000 千円	※税率 10%で算定

解体工事の概算工事費は下記の通りとなります。他の類似施設の事例実績などを参考に算定した目安の工事費であり、今後の建設物価や社会動向により変動する可能性があります。

解体工事	概算工事費	項目
旧屋内グラウンド	72,732 千円	鉄骨/平屋建/1,160 m ² (税込)
旧教育研修センター	5,060 千円	木造/平屋建/230 m ² (税込)
勤労青少年ホーム	47,905 千円	RC/2階建/650 m ² (税込)
勤労青少年ホーム体育館	52,688 千円	RC一部鉄骨/平屋建/840 m ² (税込)
小計(税込)	178,365 千円	※税率 10%で算定
現志道館	135,344 千円	鉄骨/2階建/2,020 m ² +木造その他/平屋建/820 m ² (税込) ※H34年度(2022年)実施予定
合計(税込)	313,709 千円	※税率 10%で算定

③.事業スケジュール

西暦 2021 年度末の完成を目指します。

日程 工種	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)
基本構想					
基本設計					
実施設計					
建設工事					供用開始予定